

平成24年度  
嬉野市健全化判断比率及び資金不足比率  
審査意見書

嬉野市監査委員

# 平成24年度 嬉野市健全化判断比率及び資金不足比率 審査意見書

## 1 審査の概要

平成24年度の各会計の決算等に基づく、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率並びに算定の基礎となる事項を記載した書類を審査の対象とした。

## 2 審査の手続き

この審査に当たっては、以下の点に着眼し、これらの算定の基礎となる事項を記載した関係書類と照合を行うとともに、関係者から説明を聴取し実施した。

- ①法令等に照らし算出過程に誤りはないか。
- ②法令等に基づき適正な算定要素が計算に用いられているか。
- ③算定の基礎となった書類等が適正に作成されているか。
- ④客観的事実の妥当性を判断したうえで算定を行う場合において、公正な判断が行われているか。

## 3 健全化判断比率について

### (1) 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認めた。

(単位：%)

健全化判断比率	平成24年度	平成23年度	平成22年度	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	—	—	—	13.87	20.00
連結実質赤字比率	—	—	—	18.87	30.00
実質公債費比率	9.5	11.0	12.4	25.0	35.0
将来負担比率	37.6	39.1	45.9	350.0	—

備考 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の算定において、赤字額がない場合は、「—」を記載した。

### (2) 審査の意見

#### ①実質赤字比率について

平成24年度の実質収支が黒字となっているため、早期健全化基準と比較すると良好な状態にあると認められた。

②連結実質赤字比率について

平成24年度の連結実質収支が黒字となっているため、早期健全化基準と比較すると良好な状態にあると認められた。

③実質公債費比率について

平成24年度の実質公債費比率は9.5%で前年度より1.5ポイント改善し、早期健全化基準の25.0%と比較するとこれを下回っているが、今後は長期的視点に立った効率的・効果的な財政運営が必要不可欠である。更なる適切な債権の管理と計画的な償還に努められたい。

④将来負担比率について

平成24年度の将来負担比率は37.6%で前年度より1.5ポイント改善し、早期健全化基準の350.0%と比較すると、これを下回り良好な状態にあると認められた。しかし、嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七及び第八土地区画整理事業特別会計に係る保留地の売却については実質的な将来負担を軽減するため、今後も引き続き努力されたい。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

4 資金不足比率について

(1) 審査の結果

審査に付された下記の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

(単位：%)

会 計 名	平成24年度	平成23年度	平成22年度	経営健全化基準
嬉野市農業集落排水特別会計	—	—	—	20.0
嬉野都市計画下水道事業嬉野市 公共下水道事業費特別会計	—	—	—	20.0
嬉野市嬉野温泉公衆浴場施設特 別会計	—	—	—	20.0
嬉野市水道事業会計	—	—	—	20.0

備考 資金不足比率の算定において、赤字額がない場合は、「—」を記載した。

(2) 審査の意見

嬉野市農業集落排水特別会計、嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計、嬉野市嬉野温泉公衆浴場施設特別会計及び嬉野市水道事業会計全てにおいて資金不足は生じていないため、経営健全化基準と比較すると良好な状態にあると認められた。引続き経営の効率化、健全化に努められたい。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。